

# 絵をみて考えてみよう



1

●LGBTという言葉を知っていますか？

●あなたが悩みを打ち明けられたらどうしますか？

LGBTという言葉は、性的指向（恋愛の対象）、割り当てられた性別について違和感を感じるセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。ある民間の調査によると、日本では13人に1人がLGBTであるといわれています。しかし、社会に存在する差別や偏見から不安を感じ、隠さざるを得ない状況があります。

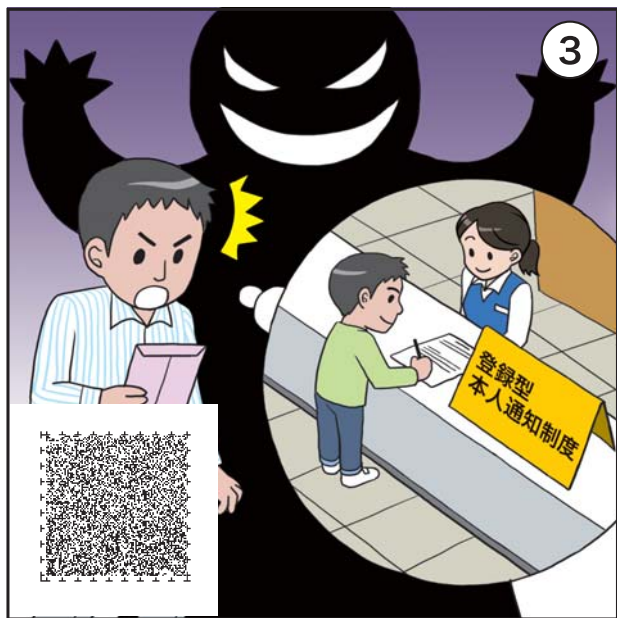


2

●あなたがこのような場面を見かけたらどうしますか？

●このような状況の背景にはどんなことが考えられますか？

虐待は、子どもたちの健やかな成長を損ない、長期にわたって心身に影響を与えます。相談件数は年々増加しており、暴力による身体的虐待だけでなく、ネグレクト（育児放棄）や心理的虐待、性的虐待などさまざまな事例があります。「子育ては親の責任」と放置するのではなく、地域ぐるみの支援が必要です。



3

●身に覚えのないはがきや勧誘電話を受けた経験はありますか？

●自分の個人情報を守るためにはどうしたらよいでしょうか？

戸籍謄本や住民票の写しなどの個人情報を大量に不正取得し、その情報を売買する事件が発生しています。このような個人の権利侵害を防止するため、福山市では2013年（平成25年）から「登録型本人通知制度」を実施しています。

# どんな問題がおこってる？

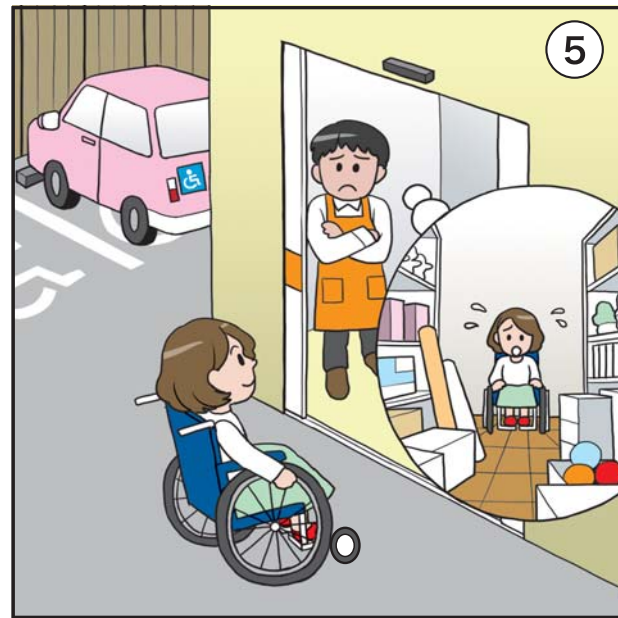


4

●誰かのためにできることがあるとすれば、どんなことですか？

●あなたの家族が介護や支援が必要になったときどこに相談しますか？

高齢になっても元気で活躍している人もいれば、体の自由が利かなくなる、認知症や寝たきりになるなど、介護が必要となる人もいます。また、高齢者がいきいきと暮らすためには、支援だけでなく、意欲のある高齢者を広く受け入れ、ともに生きることへの理解を深めることが大切です。



5

●困っている人を見かけたときや、あなたが当事者だったらどうしますか？

●どんな配慮が必要だと思いますか？

障がいは誰にでも生じ得るものであり、多種多様で外見では分からないものもあります。障がいのある人を含むすべての人々にとって「住みよいまちづくり」を進めていくためには、社会のすべての人々が障がいについて十分に理解し、必要な配慮をすることが求められています。



6

●あなたはどのようなことでインターネットを利用しますか？

●書き込みや画像を投稿する時など、私たちはどのようなことに気をつけたらよいでしょうか？

インターネットの普及により、匿名性や情報発信の容易さから、間違った情報を掲載する、特定の人物や地域などを誹謗中傷する、事件に巻き込まれる、個人情報の流出につながるなど、さまざまな問題が起こっています。インターネット上に一度掲載された情報は、簡単にコピーや転送することができ、世界中に広がってしまいます。

